

知らなきゃ損する

歯

のはなし

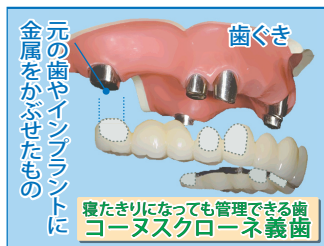


埼玉県羽生市 木村歯科医院 HPにてバックナンバー掲載中!!

⑫7 インプラント専門医の勧めるコーヌスクローネ義歯②

前回のコラムでもお話ししたコーヌスクローネ義歯は、1980年代にドイツから入ってきた高度な技術の治療法です。治療する側には高い技術が必要とされるため、未熟な技術での治療も多く、予後が本来の期待されるものより悪くなってしまう例が多々あり、また、インプラント治療の普及もあり、一時減少してしまいました。現在も治療の難しさから、多くの歯科技工士学校がコーヌスクローネ義歯を実習等で教えていない事も

あり、提供できるところが限られてしまっている治療法なのです。そんな中、当コラムなどでインプラント治療について多くの利点を話してきたインプラント専門医の私が、最終義歯としてコーヌスクローネ義歯



をお勧めするのは、近年大きな改善が見られたからです。歯の無い所にインプラントを使わなくても噛めるようになった事、また、インプラントを併用してもその数を最小限に留めて、快適に噛めるようになった事が、多くの症例から可能となりました。



最近の臨床では、歯が1本も無い総入れ歯の方にインプラントを6本入れ、14本分の歯を回復させるコーヌスクローネ治療を行っております。しゃべる事はもちろん、噛み

30年後もおいしく!

み込めもあり、おいしく物が噛めると喜ばれております。このような治療は4、5年先の治療ではなく、10年、20年、30年先を見据えた人生100年時代のための治療法と手心えを感じています。コーヌスクローネ義歯

はインプラント歯周炎にも対応できる画期的な治療法です。今までの「取り外しが不便」という通常の入歯の欠点、外して磨ける事で歯周病にも対応でき、むしろ強みとなっております。また、寝ている間も入れたままにできるのも利点の一つです。

院長の無料相談

コラムを執筆する木村匡司院長が、お口のことなら何でも相談に応じます。毎日実施中。

歯の無料健康講座

歯と全身の健康の関わりや間違わない治療方法など現役歯科医師が解説。次回は4月9日(土)、12日(火) 15時30分から約60分

通話料無料
フリーダイヤル

0120-255-418